

2016年4月1日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション

2017年3月期 期首訓話要約「収益を着実なものとし、
新たな収益源の目途をたてる重要な時」
(実施:4月1日、社長:澁谷 省吾)

本年度は、2013年4月からスタートした中期経営計画「時代を捉え、時代を拓く」も仕上げの時。

油価低迷の影響など厳しい世界情勢の中、足許の収益を着実に改善させつつ、将来の飛躍に向けて果敢に挑戦する1年となる。

市場環境が変わる今こそ下を向かず、自分を大切に、明るくそして互いを尊重し「Smile & Respect」を忘れずに、未来を切り拓いていこう。

<信頼回復に向けて>

- 1) 石油・石化分野ほかで損益を悪化させ、ステークホルダーにも多大なご迷惑をかけた。失った信頼を取り戻すためにも、過去のLLを最大限活用するなど全社挙げて着実に案件を進捗させ、収益を改善させていく。

<中期経営計画目標達成に向けて>

- 1) 海洋開発分野では、長期的な当社の成長と世界と日本のエネルギーセキュリティー確保の一翼を担う挑戦は続けていく。事業展開や戦略についても、市場環境に合せ柔軟に対応していく。
- 2) 順調に推移したLNG分野でも市場環境が変わっていると認識し、案件の見極めとLNG No.1の地位を維持するための更なる技術研鑽が必要。
- 3) 石油・石化分野の取り組みには、独自技術が生かせる案件の創造、収益性の確保を見極め、生き残りを賭けグローバルな遂行体制の再編と案件の選択に取り組んでいく。
- 4) 次々に手を打って進んでいる新規事業による収益貢献には時間が必要。焦ることなく着実に成果をあげていく。

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>